

学校における新型コロナウイルス感染拡大防止について

日頃は、瀬戸市の教育行政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、市内小・中・特別支援学校におきましては、8月24日（月）より2学期が始まりました。25日からは給食で通常の品数での提供が始まりました。

今後も感染症対策を講じつつ、学校教育だからこそできる学びを大事にしながら教育活動を進めてまいりますので、学校の教育活動の継続へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 感染拡大防止のための臨時休校措置について

瀬戸市立小・中・特別支援学校において、児童・生徒・教職員の感染が判明した場合は、学校と市教委、保健所、学校医とで対応を検討します。

- ① 状況に応じて、臨時休校、学年閉鎖、学級閉鎖などの対応をいたします。
- ② 対応の詳細については、学校配信メールや配布文書にてお知らせいたします。

※ プライバシー保護の観点から、感染者については「小学校女子児童、中学校男子生徒、小（中）学校40代男性教職員など」と表記いたします。報道機関へ学校名を知らせることはありませんので、該当校の関係者以外の方に学校名を知らせることはお控えいただきますようお願いいたします。

- ③ 臨時休校は、原則3日間としますが、期間については保健所等と相談し決定いたします。
- ④ 学校再開等の諸連絡は、学校配信メールにてお知らせいたします。
- ⑤ 臨時休校の場合は、放課後学級、放課後児童クラブも実施いたしません。

2 感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷を防ぐために

現在、各地で感染者が発生しており、感染症対策の取組を徹底したとしても、学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があり、日々不安を感じながら生活をしています。

しかし、その不安は感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷をすることで取り除くことはできません。子どもたちには感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、早く治るよう励まし、治ったときには温かく迎えほしいと、日頃より伝えております。不安や暗い気持ちになる今だからこそ、大人が予測困難な世の中に対し、他者と力を合わせながらよりよい社会を築く姿を示していただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

併せて裏面に文部科学大臣のメッセージも載せましたのでご覧ください。